

インターネットで農作業安全について学べる eラーニングシステム「農機安全 eラーニング」

農作業による死亡事故においては、農業機械作業によるものが7割を占め、機械の安全な使用方法について正しい知識を身につけることは非常に重要となっています。このため、インターネットを介して、誰でも場所や時間の制限なく、かつパソコン利用による利点を生かして効果的に安全学習ができるeラーニングシステムが開発、公開されましたので、その概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. インターネットを利用できるパソコンを用いて、マウス操作のみでいつでもだれでも学習することができます。面倒なユーザ登録などは必要ありません。
2. 学習対象は、乗用トラクタ（移動、耕うん作業、点検整備）、自脱コンバイン（移動、作業・点検整備）、歩行用トラクタ（全般）、刈払機（全般）の4機種7項目です。
3. 「農機安全 eラーニング」のメインメニュー（図1）から、順に学習したい項目を選ぶと、学習ストーリーがはじまります。途中でクイズがあり、解答しながら学習を進めます。クイズに正解して先へ進むと、動画やイラスト、写真でわかりやすく解説されます（図2）。自ら操作し、クイズに答える構成であるため、受身でない効果的な学習が期待できるほか、様々な危険作業事例を動画で紹介する等、危険性をより実感できるようになっています。
4. ストーリーの最後に確認テスト（3問）があり、テスト終了後は結果と間違えた部分の解説が表示され、印刷もできます。全問正解すると、修了証書が表示されます。
5. 1コンテンツの学習時間の目安は15分程度です（個人差があります）。



図1 メインメニュー画面



図2 学習画面例

☆ 活用面での留意点

1. ウェブサイト「農作業安全情報センター」(<http://brain.naro.affrc.go.jp/anzenweb/>)内のコンテンツとして公開しています。詳しい使い方についてもこちらをご覧ください。
2. ご利用にあたってはAdobe Flash Player 8以上（無償）が必要です。Windows および Mac OS における各種ウェブブラウザ上で動作します。ブロードバンド環境を推奨します。
3. 詳細は生研センター特別研究チーム（安全）(TEL:048-654-7053)へお問い合わせください。
(中央農業総合研究センター 研究管理監 小林 恭)